

JR東労組盛岡

No. 88
2021年5月7日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 佐々木克之
編集人 情宣部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

コロナ禍でも仕事や生活は変わらない!

労働組合として組合員の利益と生活を守るため 堂々と夏季手当を要求しよう!

新型コロナウイルス感染症拡大以降、JR東日本の大幅な減収の影響を受け、私たちは給料や賞与も2020年度年末手当2.2ヶ月や、21春闘(ベースアップ無し、定期昇給係数2で実施)など、大きな犠牲を強いられています。年末手当では「地本内全組合員アンケート」を取り組み、21春闘では緊急提言を受け、黒字化に向けアイデアを出し合うなど、労働組合として組合員の雇用と利益を守るため取り組んできましたが、到底納得できない会社回答になっています。組合員からも「会社の将来や、生活していく上での収入に対し不安を感じている」「コロナ感染に恐怖を感じながらも、今まで以上の業務量の仕事を行っている。その評価が感じられない」等の声が多く出されています。

☆21春闘妥結を受けての組合員の声☆

- 「お客さまは減っているけど、業務用は変わっていない」
- 「一生懸命頑張っている事に対する評価が感じられない」
- 「コストダウンと言っているがまだまだ無駄使いしている事が多い」
- 「東労組が組織拡大しないと、今後も手当は勝ち取れない」



これだけ現場は奮闘している!!① ~八戸運輸区~

ダイ改以降、八戸運輸区では運転士が運転士業務と車掌業務の二つを担っています。当初は否定的な意見もありましたが、今の現状を職場集会で議論し、職場と雇用を守る具体的な実践として、問題点や出し合いながら組合員が率先して担っています。

今まで(1人が1業務)



ダイ改以降(1人で2つの業務を担う)



コロナ禍でも黒字化に向け奮闘している! 堂々と夏季手当を要求しよう!